

平成 19 年 11 月 15 日

患者各位

患者個人情報の紛失について  
—お詫びとお知らせ—

済生会新潟第二病院  
病院長 上村 朝輝

平成 19 年 11 月 5 日、当院事務員が患者さんの個人情報が入った USB メモリを紛失し現在に至っても発見されていません。

**紛失した個人情報は、本年 4 月 1 日から 10 月 31 日の間に入院されていた 3,042 人分の患者さんの ID 番号、看護必要度調査に関する事項、データ識別番号であり、氏名や住所、電話番号は含まれておりません。**

**また、データは全て数字に置き換えてあり、このデータだけでは個人が特定できるものではありません。**

現在のところ、この情報が外部に流出した事実は確認されていませんが、皆様には多大なご心配をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げますとともに、下記のとおり経緯及び今後の対応をご報告させていただきます。

#### 記

##### 1. 紛失した患者情報の内容

患者 3,042 人分の ID 番号、看護必要度調査(創傷処置、蘇生術の実施など 28 項目)、データ識別番号

※看護必要度調査は病棟に看護師を適正に配置するために必要な資料です。

##### 2. 紛失の経緯

別紙「患者個人情報の紛失経緯」のとおり

##### 3. 今後の対応

USB メモリの取り扱いについてのルールを策定します。

当院では患者さんの個人情報保護に関しましては日頃から特に注意を払い、関係職員の意識啓発と指導に努めて参りました。しかしながらこのような事態に至り、該当する患者さんをはじめ、当院を利用する多くの方々に多大なご不安ご心配をおかけしましたことを深く反省するとともに、今後このようなことのないよう、改めて個人情報の管理について周知徹底するとともに、再発防止に努めて参ります。

なお、この手紙に関するお問い合わせにつきましては、下記にて受け付けております。今回のことに関しまして、皆様に対し不審な連絡等がございましたら、ご一報いただけますようお願い申し上げます。

照会先 済生会新潟第二病院 総務課 (TEL 025-233-6161)  
受付 月～金曜日 8:30～17:00

## 別紙

### 患者個人情報の紛失経緯

当院では、看護師の適正配置を目的に患者さんの看護必要度を調査し、データベースを構築しています。

看護必要度データベースはUSBメモリの中にあり、データベースへのデータ入力、2階事務室と10階図書室の二箇所にて同一の事務員が行っていました。

入力を行っていた事務員は入力場所を移動するにあたりデータベースの入ったUSBメモリを制服の胸ポケットに入れ、移動先でポケットからUSBメモリを取り出しパソコンに接続して入力業務を行っており、業務終了時には2階事務室の所定の場所に施錠保管していました。

- 1 1月 2日（金） 業務終了時、2階事務室の自席引き出しにUSBメモリを保管。
- 1 1月 5日（月） 9時、看護必要度データ入力業務を行うため自席引き出しを開けたところUSBメモリが紛失していることに気付く。上司に報告するとともに金曜日の行動箇所を捜索する。  
外への持ち出しの可能性も考えられたため病院周辺、自宅内外、制服のクリーニングを依頼した店舗の捜索も行う。  
以降、同様の箇所を引き続き捜索する。
- 1 1月 8日（木） 盗難も考えられるが、状況から置き忘れや紛失した可能性が高いと判断し、警察へ拾得物の照会をする。
- 1 1月 13日（火） 新潟県福祉保健部医薬国保課医療指導係へ事故の報告をする。
- 1 1月 14日（水） 報道関係に事故に関する情報を公開する。

以上